

一般的な指導及び監督指針 12 項目（国交省告示 1366 号）
「項目⑨ 運転者の運転適性に応じた安全運転」 理解度チェック

実 施 日	受講者名	管理者	指導者
令和 年 月 日 ()		印	印

問題①

適性診断は、新たに運転者として選任されたものが受診する 、65 歳以上の運転者が受診する 、事故惹起者が受診する 、一般診断がある。

- ①特定診断Ⅰ・Ⅱ ②適齢診断 ③事故診断 ④初任診断 ⑤安全診断

問題②

適性診断を受診し、動作の さ、判断・動作の 、注意の配分、視覚機能、安全態度・ など、様々な角度から自分の特性を理解し、 に役立てること。

- ①正確 ②安全運転 ③トレーニング ④タイミング ⑤危険感受性

問題③

長い待ち時間等の運転状況、道を間違えるなどの思いがけないミス、無理な指示を受ける等の外的な圧力、せっかちな性格などにより、 に陥りやすい。急ぎの心理に陥ったら、 おいて感情を し、焦りや感情に流されず、常に冷静で安全な運転を心がけること。

- ①居眠り ②急ぎの心理 ③コントロール ④一呼吸 ⑤無呼吸

項目⑨ 運転者の運転適性に応じた安全運転 まとめ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 適性診断を受診し自身の特性を理解する ・ 診断結果を踏まえ運転に活かす ・ 焦りや感情に流されず冷静に判断する

結果	受講者が気づいたこと
/ 10	
指導者からのコメント	